

校長・副校長ヒアリング報告

1、アクティブラーニング*に対応した『メディアセンター*』の設置について

メディアセンター*として、図書室・パソコンルーム・グループ学習スペース・発表スペース等を一体化することについて、賛成という意見が多かった。一方、現在は授業で図書室やパソコンルームは同時に別々のクラスが使用することがあり、メディアセンター*化することで複数クラスの同時使用が出来ないのであれば、授業に支障が出るという意見があった。

また、メディアセンター*化することで使いにくくならないこと、複数クラスが同時に使えるよう音について支障がないようにすること、パソコンルームは別に単独で必要なこと、発表については普通教室でも行うため普通教室もICT*環境等を充実させること、などの意見もあった。

また、武蔵野市の学校図書室は、寝転んだり、座ったり、静かに落ち着いた中で本を読みふけるといった環境が整っておりとても良い空間作りが出来ているので、メディアセンター*化した場合でも、今の良い図書室環境を残すよう設計してほしいという要望があった。

2、『職員室』の設えについて

必要な諸室等について、職員室内には、休憩スペース・作業スペース・打合せスペース・収納棚・コピー機が、隣接して校長室・事務室・印刷室、近接して職員用更衣室・小会議室が複数必要であるという意見であった。また、シャワー室の設置について要望が複数校であった。

職員室の設置階について、現在武蔵野市の学校のほとんどが2階であるが違和感があるという先生が多かった。2階は校庭を見渡せるというメリットがあるが、一方校庭で何か事故等が発生した場合はすぐに対応できないというデメリットがある、との意見があった。

セキュリティの面から今後は1階が望ましいという意見が多かった。

3、『トイレ』の和便器・小便器の必要性について

和便器の必要性について、今の家庭環境を考えるとほとんどの家庭は洋式便器が主流なので、和便器は不要であるという意見が多かった。一方、校外学習等に行った先のトイレは和便器しかない施設もまだ沢山あるので、フロアに1カ所、又は学校に1カ所等必要最小限残す必要があるという意見もあった。

男子の小便器の必要性について、小便器を廃し、全てを個室洋便器設置とした場合、トイレ渋滞が発生し休憩時間内にトイレが済ませられない、個室にこもってしまう等問題がある。社会的には、まだどこも小便器利用はあるので、小便器は残す方がいいという意見が多かった。

4、『更衣室』の必要な学年について

現在、ほとんどの小学校が中学年（3・4年生）から男子・女子別々の室で着替えが行われている。最近では子供の成長が早くなってきており、低学年から更衣室があった方が良いという意見や、1年生は着替えやたたむという行為が教育であり低学年に更衣室は不要であるという意見があった。また、更衣室が男女別々になった場合一人の教員で対応出来なくなる問題があるという意見もあった。

5、『プール』の共同利用化について

プールを複数校または市民との共同利用とした場合、プール未設置校では移動が必要となり、その移動に時間がかかり、授業時間の確保が困難になるため現実的ではないという意見が多かった。一方、温

水化して通年利用が出来るのであれば可能かもしれないという意見も少数であった。また、プール管理を外部委託出来るのであれば、教員の負担がかなり軽減されるという意見もあった。

今までの平置きプール*の設置が困難な場合は、屋上や地下を利用して各校にプールを設置してほしいという意見が多かった。

6、校庭の『人工舗装（人工芝）』について

建築基準法の日影規制*や斜線制限*等の影響で、敷地南側に校舎を建築した場合、校庭が校舎北側の設置になる。雨や冬場の霜・雪などの影響を軽減するための手法の1つとしての人工舗装については、過去に人工舗装の学校に赴任された先生から、砂埃が立たない、ライン引きの手間が省ける、子供たちが思いっきり走れるなどの意見が多く聞かれた。一方、土の校庭とは違う種類の怪我（火傷・擦過傷等）の心配や、部活（野球・サッカー・テニス等）の制約、使用上の制限（校庭での火の使用、車両の乗り入れ）等の課題があるという意見が聞かれた。また、武蔵野市の学校校庭は教育の場という観点のほかに、地域開放の場でもあり地域活動の問題もあるため慎重な議論が必要であるという意見もあった。